

## 主要な公共施設情報

1. 総合体育館
2. 温水プール
3. 吉田グラウンド・弓道場
4. テクノスポーツドーム  
(ありそドーム)
5. 桃山運動公園
6. 天神山野球場
7. 新川学びの森天神山交流館
8. 歴史民俗博物館・吉田記念郷土館
9. 埋没林博物館
10. 水族博物館
11. 保育園 (8園)
12. 地区公民館 (13館)
13. 旧小学校 (4校)

# 1. 総合体育館

【廃止】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・老朽化が進み耐震性もないことから、小中学校や他の施設にある体育館の活用などを視野に入れ、小学校の統廃合に合わせて廃止する。  
(目標年度：平成30年度)

## 進捗状況

- ・指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっており、それまでに廃止した場合の影響を把握しながら、対応を検討する。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲2,748万円  
(収入 324万円 支出 3,072万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？（利用者の負担のみで運営する場合）

例) 体育館利用、ランニングコース利用共通 1回 一般 100円 → 950円  
生徒・児童 20円 → 190円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約2,700万円が不要  
(5年で約1億3,500万円)

### ★施設情報

建築年度：昭和50年（築後44年経過）

延床面積：4,560㎡

耐震性：なし

利用者数：延べ75,860人（平成29年度）

利用者層：市内の利用者が主。午前は一般向けの教室、  
夕方以降は部活・団体利用が多い。

開館時間：午前9時～午後9時

### 【近隣の類似施設と再編方針】

- ・ありそドーム（テクノスポーツドーム）【維持】
- ・小中学校、地区体育館（17館）【維持】
- ・学びの森交流館体育館【廃止】
- ・黒部市総合体育センター（体育館200円）

# 2. 温水プール

【建替】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・老朽化が進み耐震性もないことから、平成30年度までに温水プールの建替を行うこととし、耐震化は行わない。
- ・温水プールの整備及び管理運営の手法については、民間活力の活用を視野に入れながら行う。（目標年度：平成30年度）

## 進捗状況

- ・指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっている。
- ・建設にあたっては、他の大型建設事業と実施年度が重ならないよう調整。
- ・魚津市スポーツ推進審議会からの建議（答申）や平成30年2月に実施したサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、基本構想の策定を進めている。
- ・今年度、PFI導入可能性調査を実施。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲1,836万円  
(収入 315万円 支出 2,151万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？（利用者の負担のみで運営する場合）

例) 1回 一般 210円 → 1,440円  
生徒・児童 100円 → 690円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・建設費：約10億円

(建設年度の支出は1億4,000万円。残りの4億円は借金となり、翌年度以降、毎年1,600万円を25年間返済。)

### ★施設情報

建築年度：昭和53年（築後41年経過）

延床面積：2,151㎡

耐震性：なし

利用者数：延べ41,748人（平成29年度）

利用者層：市内の利用者が主。日中は個人の一般・

高齢者、午後からは部活や教室利用が多い。

開館時間：平日PM1時～PM9時、日祝AM10時～PM5時

### 【近隣の類似施設と再編方針】

- ・学校プール 【維持】
- ・スポーツアカデミー（月会費6,800円）（民営）
- ・S-QOL（月会費10,500円[ジム等含む]）（民営）
- ・黒部市温水プール（2時間300円）

# 3. 吉田グラウンド・弓道場

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- 隣接する総合体育館や温水プールの方針を踏まえ、管理に支障のない場合は引き続き維持していく。  
(目標年度：平成30年度)

## 進捗状況

- 指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっている。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲75万円  
(収入 3万円 支出 78万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？（利用者の負担のみで運営する場合）

例) 吉田グラウンド	一般	30円 → 790円
弓道場	一般	無料 → 50円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- 維持費：毎年約80万円が必要  
(5年で約400万円)

### ★施設情報

建築年度：昭和39年（築後55年経過）

延床面積：103㎡（敷地面積25,336㎡）

耐震性：なし

利用者数：延べ6,510人（平成29年度）

利用者層：市内の利用者が主。部活は平日夕方と休日、  
その他は一般個人の利用者が主。

開館時間：午前8時半～午後9時

### 【近隣の類似施設と再編方針】

- 桃山運動公園 【維持】
- 小中学校、地区グラウンド（15面） 【維持】
- 黒部市多目的グラウンド（1時間150円）

# 4. テクノスポーツ（ありそ）ドーム

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。
- ・管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。  
(目標年度：平成47年度)

## 進捗状況

- ・指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっている。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲8,636万円  
(収入 4,118万円 支出 12,754万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？（利用者の負担のみで運営する場合）

例) バドミントンコート1面（2時間）	一般	210円 → 660円
	児童・生徒	100円 → 310円
ランニングコース	一般	100円 → 310円
トレーニングルーム	一般	410円 → 1,270円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約8,600万円が必要  
(5年で約4億3,000万円)

### ★施設情報

建築年度：平成9年（築後22年経過）

延床面積：12,154㎡

耐震性：あり

利用者数：延べ270,643人（平成29年度）

利用者層：市外の利用者も多い。平日の日中は一般・  
高齢者の利用が多く、それ以外は団体利用。

開館時間：午前8時半～午後9時半

### 【近隣の類似施設と再編方針】

- ・総合体育館 【廃止】
- ・小中学校、地区体育館（17館） 【維持】
- ・学びの森交流館体育館 【廃止】
- ・黒部市総合体育センター（体育館200円、TR300円）

# 5. 桃山運動公園

## 【維持】

### 魚津市公共施設再編方針

- ・長期的な視野に立って施設の整備・補修計画を策定し、施設の長寿命化を図りながら、引き続き維持していく。
- ・管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。  
(目標年度：平成47年度)

### 進捗状況

- ・指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっている。

### 収支状況

平成29年度収支 ▲6,354万円  
(収入 731万円 支出 7,085万円)



適正な運営をするために必要な利用料は・・・？  
(利用者が半分を負担し、残りの半分以上を税金で運営する場合)

例) テニスコート 1面	(1時間)	一般	410円 → 2,000円
野球場	(1時間)	一般	1,080円 → 5,240円
陸上競技場	(2時間)	一般	100円 → 490円
運動広場全面	(半日)	一般	2,710円 → 13,140円

### 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約6,400万円が必要  
(5年で約3億2,000万円)

#### ★施設情報

建築年度：昭和62年（築後32年経過）

延床面積：6,409㎡

耐震性：あり

利用者数：延べ72,481人（平成29年度）

利用者層：夕方と休日は小学生～一般の利用が多い。

平日の日中は一般～高齢者の個人利用が主。

開館時間：午前8時半～午後9時半

#### 【近隣の類似施設と再編方針】

- ・吉田グラウンド 【維持】
- ・小中学校、地区グラウンド（15面） 【維持】
- ・天神山野球場 【維持】
- ・黒部市多目的グラウンド（1時間150円）

# 6. 天神山野球場

## 【維持】

### 魚津市公共施設再編方針

- 施設の更新時期を見据え、必要最低限の施設を更新していく。  
(目標年度：平成47年度)

### 進捗状況

- 指定管理（魚津市体育協会）期間が平成32年度末までとなっている。

### 収支状況

平成29年度収支 ▲454万円  
(収入 24万円 支出 478万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？  
(利用者が半分を負担し、残りの半分で税金で運営する場合)

例) 午前	一般	200円	→	1,970円
午後	一般	320円	→	3,140円
夜間照明	一般	1,050円	→	10,300円

### 再編方針に沿って進めた場合の試算

- 維持費：毎年約500万円が必要  
(5年で約2,500万円)

#### ★施設情報

建築年度：昭和53年（築後41年経過）

延床面積：62.1㎡

耐震性：一部なし

利用者数：延べ22,790人（平成29年度）

利用者層：市内一般男性の利用が主。

夏は大学女子野球で市外の女性利用が増える。

開館時間：午前9時～午後9時

#### 【近隣の類似施設と再編方針】

・ 桃山運動公園 【維持】

・ 早月川緑地公園 【維持】

・ 小中学校、地区グラウンド（15面） 【維持】

・ 黒部市多目的グラウンド（1時間150円）

# 7. 新川学びの森天神山交流館

## 【一部廃止】

### 魚津市公共施設再編方針

- ・年間を通じた稼働率が低い体育施設、宿泊施設及び食事施設は廃止する。
- ・管理運営費に見合った利用料金への見直しを行う。  
(目標年度：平成35年度)

### 進捗状況

- ・指定管理（魚津市施設管理公社）期間が平成32年度末までとなり、今後のあり方や利用料金の見直しについて検討。
- ・個別型サウンディング調査を実施。官民連携による魅力向上や活性化に向けた事業について、また、施設の活用や連携について対話を実施。

### 収支状況

平成29年度収支 ▲5,036万円  
(収入 1,220万円 支出 6,256万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？（利用者の負担のみで運営する場合）

例) 小研修室、音楽練習室（3時間） 620円 → 1,590円  
体育室（3時間） 1,640円 → 4,200円

### 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ①維持費：一部廃止により、毎年約1,200万円が不要  
(5年で約6,000万円)  
(※全体の維持費約5,000万円を面積で按分して算出)
- ②維持費：存続施設の維持に約3,800万円が必要

#### ★施設情報

建築年度：昭和55年（築後39年経過）

延床面積：10,253㎡

耐震性：なし

利用者数：延べ47,739人（平成29年度）

利用者層：約半数が音楽利用目的。約3割が市外利用者。

開館時間：午前9時～午後10時

#### 【近隣の類似施設と再編方針】

・新川文化ホール（ミラージュホール）【維持】

・地区公民館（13館）【維持】

・黒部市民会館（小会議室3時間：690円）



# 8. 歴史民俗博物館・吉田記念郷土館

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・中・長期的に組織強化及び施設の再編を図り、魚津の地形や富山湾の特性を活かした3館の事業を連携しながら、引き続き維持していく。
- ・歴史民俗博物館は、施設の更新時期を見据えながら、小学校跡地へ機能集約する。  
(目標年度：平成47年度)

## 進捗状況

- ・適正な管理に努める。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲893万円

(収入 なし 支出 893万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？

(利用者が半分を負担し、残りの半分以上を税金で運営する場合)

例) 一般 無料 → 600円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約900万円が必要  
(5年で約4,500万円)

### ★施設情報

建築年度：昭和47年（築後47年経過）

延床面積：2,387㎡

耐震性：一部なし

利用者数：延べ7,441人（平成29年度）

利用者層：市外からの利用が約半数を占める。

小学生以下と高齢者が多い。

開館時間：午前9時～午後5時

### 【近隣の類似施設】

- ・うなづき友学館（大人300円/中学生以下無料）
- ・滑川市立博物館（無料）

# 9. 埋没林博物館

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・中・長期的に組織強化及び施設の再編を図り、魚津の地形や富山湾の特性を活かした3館の事業を連携しながら、引き続き維持していく。
- ・埋没林博物館は、特別天然記念物指定の関係から、既存の場所で平成26年度にリニューアルを行う。  
(目標年度：平成47年度)

## 進捗状況

- ・平成26年度及び平成30年度にリニューアル済。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲6,085万円  
(収入 1,302万円 支出 7,387万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？  
(利用者が半分を負担し、残りの半分で税金で運営する場合)

例) 一般 520円 → 850円  
小・中学生 260円 → 430円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約6,000万円が必要  
(5年で約3億円)

### ★施設情報

建築年度：平成3年（築後28年経過）

延床面積：3,589㎡

耐震性：あり

利用者数：延べ31,750人（平成29年度）

利用者層：市内外の団体利用が主。

ファミリー・カップルの利用が近年増加。

開館時間：午前9時～午後5時

### 【近隣の類似施設】

・ほたるいかミュージアム

入館料：3月中旬～5月 大人800円/小人400円

6月～3月中旬 大人600円/小人300円

# 10. 水族博物館

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・中・長期的に組織強化及び施設の再編を図り、魚津の地形や富山湾の特性を活かした3館の事業を連携しながら、引き続き維持していく。
- ・改修・改築、新築移転の検討を早急に進める。  
(目標年度：平成47年度)

## 進捗状況

- ・適正な管理に努める。

## 収支状況

平成29年度収支 ▲1億1,340万円  
(収入 7,788万円 支出 1億9,128万円)

適正な運営をするために必要な利用料は・・・？ (利用者の負担のみで運営する場合)

例) 一般	750円	→	1,320円
小・中学生	410円	→	720円
幼児	100円	→	180円

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ・維持費：毎年約1億1,000万円が必要  
(5年で約5億5,000万円)

【参考：同規模の施設で新築移転する場合】

建設費：約29億円 (建設年度の支出は7億円。残りの22億円は借金となり、翌年度以降、毎年8,800万円を25年間返済。)

### ★施設情報

建築年度：昭和55年 (築後39年経過)

延床面積：4,114㎡

耐震性：一部なし

利用者数：延べ149,067人 (平成29年度)

利用者層：県内の幼児とその家族が主。

開館時間：午前9時～午後5時

### 【近隣の類似施設】

・のとじま水族館 (入館料：一般1,850円)

・上越市立水族館 (入館料：一般1,800円)

# 11. 保育園（8園）

## 【統廃合・民営化・維持】

### 魚津市公共施設再編方針

- ・平成35年度までに保育園の統廃合を進めるとともに、民間へのシフトを図る。
- ・当面維持していく保育園で耐震化が必要な施設は、平成30年度までに耐震化を行う。  
(目標年度：平成35年度)

### 収支状況

平成29年度収支 ▲5億2,837万円  
(収入 8,820万円 支出 6億1,657万円)

### 進捗状況

- ・平成32年度から住吉保育園を民営化。
- ・平成31年度末で西布施保育園を閉鎖。
- ・野方保育園は耐震診断未実施。

### 今後の方針

- ・小規模園となる片貝、松倉、野方保育園について、利用実態を見ながら、将来の園のあり方を検討する。

### ★施設情報（平成29年度）

	建築年度	延床面積	耐震性	園児数	収支	
・道下保育園	昭和56年	897m <sup>2</sup>	あり	76名	▲1億円	☆
・青島保育園	昭和56年	1,066m <sup>2</sup>	あり	94名	▲1億円	☆
・経田保育園	平成3年	719m <sup>2</sup>	あり	80名	▲8千万円	
・住吉保育園	昭和50年	635m <sup>2</sup>	なし	47名	▲5千万円	
・松倉保育園	平成16年	455m <sup>2</sup>	あり	30名	▲5千万円	
・西布施保育園	昭和47年	409m <sup>2</sup>	なし	18名	▲5千万円	
・野方保育園	昭和49年	622m <sup>2</sup>	なし	41名	▲5千万円	
・片貝保育園	平成13年	331m <sup>2</sup>	あり	17名	▲5千万円	

開園時間：午前7時半～午後6時（☆延長保育有り）

### 【市内の類似施設と再編方針】

	地区	定員	方針等
・大町幼稚園	大町	80名	【維持】
・魚津保育園	大町	100名	(民間) ☆
・魚津第二保育園	本江	160名	(民間) ☆
・上口保育園	住吉	110名	(民間) ☆
・認定こども園川原保育園	大町	52名	(民間) ☆
・認定こども園吉島保育園	加積	160名	(民間) ☆
・かづみ認定こども園	加積	175名	(民間) ☆
・幼保連携型認定こども園 ほんごうこども園	本江	135名	(民間) ☆
・幼保連携型認定こども園 天神保育園	天神	120名	(民間) ☆

# 12. 地区公民館（13館）

【維持】

## 魚津市公共施設再編方針

- ・原則として、公民館機能は耐震性のある小学校跡地へ機能集約し、既存公民館の耐震化は行わない。

（目標年度：平成35年度）

※学校施設を活用するためには、建築基準、消防法令の対応に伴う改修が必要であり、その費用が高額である。

## 進捗状況

- ・片貝公民館 ⇒平成28年度移転。旧片貝小学校を改修して使用。
- ・西布施公民館 ⇒旧西布施小学校を取り壊し、平成29年度、公民館・地域活性化センター新築。
- ・村木公民館 ⇒平成30年度移転。旧村木小学校を改修し、公民館、教育センター等を集約。

## 再編方針に沿って進めた場合の試算

- ① 維持費：毎年、一館あたり約600～900万円、全館で約1億円が必要（5年で約5億円）
- ②-1 改修費：旧学校施設を利用する場合、高額な改修費用が必要。（村木公民館の例では約9,000万円、片貝公民館の例では約4,000万円）
- ②-2 建設費：規模にもよるが、約1億7,000万円（西布施公民館）～約5億円（本江公民館見込み）程度必要。

### ★施設情報

	建築年度	延床面積	耐震性	収支（H29）		建築年度	延床面積	耐震性	収支（H29）
・大町公民館	昭和56年	1,055㎡	あり	▲800万円	・加積公民館	平成12年	164㎡	あり	▲1,200万円 <small>（収支は農村環境改善センター含む）</small>
・村木公民館（旧村木小学校）	昭和63年	3,577㎡	あり	▲600万円	・道下公民館	昭和63年	844㎡	あり	▲700万円
・下中島公民館	昭和58年	505㎡	あり	▲900万円	・経田公民館	昭和57年	945㎡	あり	▲700万円
・上中島公民館	昭和58年	384㎡	なし	▲500万円	・天神公民館	昭和55年	1,047㎡	あり	▲800万円
・上野方公民館	昭和50年	529㎡	あり	▲700万円	・西布施公民館	平成29年	1,294㎡	あり	▲700万円
・本江公民館	昭和54年	823㎡	なし	▲900万円	・松倉公民館	昭和47年	450㎡	あり	▲600万円
・片貝公民館（旧片貝小学校）	平成13年	2,920㎡	あり	▲900万円					

# 13. 旧小学校（4校）

## 【利活用・売却】

### 魚津市公共施設再編方針（小学校）

- ・教育環境の充実を図るため、長期的には小学校を2校とすることも視野に入れながら、平成35年度までに小学校を4校に統合する。
- ・閉校予定の小学校であっても、現在通学している児童の安全面を考慮し、耐震化が必要な校舎等は耐震化を行う。
- ・閉校となる小学校の跡地へ地域の主要施設を中心に機能集約を行い、地域の活性化を図る。
- ・新設校に集約できる機能は集約していく。

（目標年度：平成35年度）

### 進捗状況

- ・平成28年度 清流小学校開校  
（吉島小学校を改修。  
片貝、西布施小学校閉校。）
- ・平成30年度 よつば小学校開校  
（本江小学校を取り壊し、同敷地内に新築。  
大町、村木、上野方小学校閉校。）
- ・平成31年度 星の杜小学校開校  
（住吉小学校を取り壊し、同敷地内に新築。  
上中島、松倉小学校閉校。）
- ・【済】片貝小学校 ⇒改修し、公民館として使用
- ・【済】西布施小学校 ⇒取壊、公民館・地域活性化センター新築
- ・【済】村木小学校 ⇒改修し、公民館、教育センター等を集約
- ・上野方小学校 ⇒平成30年、サウンディング型市場調査を実施

### ★施設情報

	建築年度	延床面積	耐震性
・大町小学校	昭和47年	5,120㎡	あり
・上中島小学校	昭和53年	2,677㎡	あり
・松倉小学校	昭和57年	2,266㎡	あり
・上野方小学校	昭和44年	3,077㎡	あり

※学校施設を活用（例えば、公民館を移設）するためには、建築基準、消防法令の対応に伴う改修が必要であり、その費用が高額である。

※本江公民館、上中島公民館は耐震補強がされていない。